

作成日 2026 年 4 月 10 日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-163

### 課題名 : AI モデルを使った母体腹壁誘導波形からの胎児心電図波形抽出に関する探索的研究

#### 1. 研究の対象

東北大学病院にて過去に実施された下記臨床研究と治験に参加された方の情報を対象とします。

①「胎児心電図を用いた臨床研究」【臨床研究】

実施期間 : 2009 年 8 月～2019 年 3 月

②「新たな腹壁誘導法による胎児生体信号のレジストリ研究」【臨床研究】

実施期間 : 2015 年 8 月～2019 年 3 月

③「モニタ 138 の効能効果及び安全性評価試験」【治験】

実施期間 : 2013 年 1 月～2019 年 3 月

治験に参加された方の中、下記の臨床研究で同意をいただいた方を対象とします。

「母体腹壁誘導法による既存データを用いた胎児脳波信号抽出技術の探索的研究」

【臨床研究】

実施期間 : 2021 年 1 月～2025 年 12 月

#### 2. 研究期間

2026 年 5 月 (研究実施許可日) ～2030 年 12 月

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 6 月 10 日

提供開始予定日 : 2026 年 6 月 10 日

#### 4. 研究目的

妊娠中のお母さんのおなかに貼り付けた電極から記録された電気信号を使って、おなかの中の赤ちゃんの心臓から出てくる電気信号 (心電図) を抽出する新しい技術を、AI を使って研究します。

この研究の成果は、おなかの中の赤ちゃんの異常を早期に発見することに大きく寄与できると考えています。

#### 5. 研究方法

この研究は、東北大学とアラブ首長国連邦カリファ大学の共同研究で行われます。

この研究で使用する情報は、東北大学にて過去に実施された研究で取得したものを匿名化したのち東北大学からカリファ大学へ提供されます。

東北大学とカリファ大学共同で、新しいAI 技術を開発し、お母さんのお腹に貼り付けた電極から、赤ちゃんの心臓の電気信号（心電図）だけを抽出する新しい技術を研究します。

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

妊娠中のお母さんのおなかに貼り付けた電極から記録された電気信号、および、妊娠中のお母さん、および、赤ちゃんの健診データ 等

試料：

本研究での扱いはありません。

## 7. 外部への試料・情報の提供

本研究では、アラブ首長国連邦アブダビ市に本部を置くカリファ大学へ情報を提供します。試料の提供はありません。

カリファ大学は、アラブ首長国連邦でも最高峰の公立大学です。

提供する情報は、個人が特定できないように、氏名、生年月日、出産日などを削除し、さらに、個人と情報を結びつける対応表などを作成しない匿名化した状態で、電子的配信等により提供されます。

アラブ首長国連邦における個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会のWEB ページをご覧ください。

(URL : <https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaijokoku>)

提供先の研究機関においては、個人情報保護に関する内部規程が整備されており、国際的なプライバシー保護の考え方（OECD プライバシーガイドライン等）に配慮した運用がなされていることを確認しています。

## 8. 研究組織

- ① 東北大学大学院医学系研究科 笠原好之
- ② アラブ首長国連邦カリファ大学 Ahsan Khandoker

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

研究分担者の木村芳孝学術研究員（非常勤職員、名誉教授）は、（株）クラウドセンス及び（株）Adansons の未公開株を保有し、役員についています。

本研究では、木村芳孝学術研究員（非常勤職員、名誉教授）が発明者であり、東北大学に帰属する特許を用いることを検討しています。当該特許は（株）クラウドセンスと（株）Adansons が非独占的实施権を有しています。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。

本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関におけるお問い合わせ連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院医学系研究科 笠原 好之

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-717-7575

yoshiyuki.kasahara.c8@tohoku.ac.jp

当機関の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科 笠原 好之

研究代表者：東北大学大学院医学系研究科 産科学・胎児病態学分野 笠原 好之

### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合